

# 地域の水辺や生き物を調べてみた！2020



**清瀬** 6/7 空堀川～柳瀬川水質調査  
水質は一定保たれていたが、治水のための河川工事により川岸の緑が失われていた。元に戻るには数年かかると思う。



**日野** 8/20 浅川水辺の生き物調査&リバーグリーン活動  
台風の影響でいつもの場所より少し下流で調査を行った。ヌマエビなどの小さい生き物はほとんど見る事ができず、ナマズ1匹とヨシノボリ5,6匹を発見できた。

私たちの身近なまちの水辺や緑地はどうなっているのか、私たちの暮らしにどんな影響や価値をもたらしているのか。生活者ネットワークは、毎年市民の皆さんと継続して調査活動をし、ともに考える機会となっています。

## 東京・生活者ネットワーク

問合せ先 〒160-0021 新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASKビル4階  
TEL 03-3200-9189 FAX 03-3200-9274 発行 2021.4.1

**立川** 7/27 富士見緑地湧水  
多摩川・矢川緑地・立川公園  
湧き水のエリアは他の場所より湿度が若干高いように感じた。落ち葉が多いがゴミはなく自然豊かな場所であった。これからもきれいな状態で残していきたい。



### 練馬

8/4 南田中団地周辺～南田中橋  
8/5 高稲荷公園前、石神井川  
8/19 井頭公園 親水池 白子川  
9/25 清水山憩いの森

石神井川の中で南田中団地周辺は川に入れる貴重な場所です。大雨が降ると下水がオーバーフローして川に流れ出て海に流れていくので、下水の整備、合流式を分流式に変えて欲しい、と提案していく。

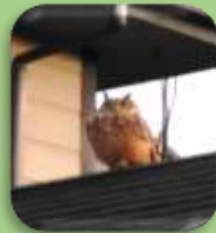


**武蔵野** 7/22 久保公園～グリーンパーク緑地～武蔵野中央公園

住宅地の中にある緑地でビオトープが2か所あり、きれいに整備されていた。ビオトープにはたくさんの生き物がいたが、毎年いたカルガモのつがいの姿がなくなっていた。

**東大和** 11/24

「湖畔のビオトープの会」の講師によるオンライン学習会を行った。



**昭島** 7/18 諏訪神社湧水・熊野神社湧水・

中沢堀、昭和用水支流の水辺の調査  
雨が多かったため、湧水が通常よりは多く湧出していた。調査の数値も全般に低く、いつもは高い硝酸態窒素が低いことに驚いた。

中沢堀の湧水は周辺のワサビ田の湧水が減少している影響か、他の湧水より流量が少なかった。



**国立** 8/2 矢川まま下湧水  
水質の分析結果から今年は長雨の影響が出ていることが分かった。大型犬のおしっこ（汗）も影響している。えび・カワナ・みずすまし・魚・ドジョウなど変わらず見られた。

**狛江** 7/31 野川水質調査  
水質調査と今回大腸菌群検査を行った。安心して川遊びができる野川を目指し毎年調査を行っていききたい。



**町田** 9/27 野津田公園スキ草地

「どんぐり穴のひみつ」などの著者、高柳芳恵さんを講師に、落ちていいるどんぐりの穴には、ハイイロチョッキリが卵を産んでいる、などの話を聞いた。



**調布** 10/24 野川と水生生物調査  
きれいな水から汚い水まで生息する生き物を見つけることができた。魚類では、肉食性で他の魚の卵や稚魚を捕食するヨシノボリやスミウキゴリが増えているのは多摩川から上がってきていると考えられる。

**世田谷** 8/5・8/10・8/20 野川・丸子川・仙川・北沢川

昨晚、羽化したアブラゼミの体の色が変わる様子を観察した。近くで大規模団地の建て替え工事が行われている、大蔵湧水は、水の汚れの度合いを表すCODの数値が例年は1～3の値が、今年は8と大きかった。



**目黒** 7/29 ケルネル田んぼ

アンモニウム態窒素とりん酸態りん(低濃度)が若干高めだが、魚が住める水質でした。実際、アメンボ、メダカ、ザリガニ、チョウチヨ、ダンゴムシ、イナゴ、トンボを発見した。



**品川** 8/8 目黒川水質調査  
目黒川の森永橋と東海橋で採取した水、林試の森の井戸で採取した水、立会川で採取した水の4種類の水質調査

**江東** 8/1 小名木川・クローバー橋・旧中川・中川大橋・平久川・鶴歩橋の水質調査

**大田** 8/25 呑川  
毎年行っている定点調査。(水質調査)  
カメ、アメンボ、トンボ、鶺鴒が見られた。